

CEPA(対話・教育・普及啓発)

Communication, Education and Public Awareness

【CEPAとは...?】 湿地や里山など自然の価値と持続可能な資源利用のあり方を次世代に伝えるための「対話」「教育」「普及啓発」等の活動を総じていう概念

対話 (Communication)

NPO との協働による公園管理

植物管理、バイオマス活用等を委託実施

大学、研究機関との連携

生物多様性の豊かな森づくりの共同研究

各種ボランティアの育成

地域社会との協働をテーマにした人材育成(年700人程度)



教育 (Education)

「自然観察学習館」の活用

市民を対象とした環境学習

自然観察会(年40回程度)

自然素材を活用した工作教室(年20回程度)

幼児・小中学生を対象とした環境学習

自然環境学習の受け入れ(年3,000人程度)

教職員研修の実施(年100人程度)



普及啓発 (Public Awareness)

情報発信

生物多様性の豊かな森づくりに関する研究成果

環境保全に関する取り組み状況(資源循環等)

資源循環型モデルパークづくりの実践・展示

森林バイオマスの有効活用

ゴミゼロエミッションの取り組み

